

ソフィアシンポジウム 2026

上智大学地球環境研究所 主催
サンペドロ大学(コートジボワール)協賛

ウミガメが つなぐ 地球と人



若月 元樹

むろと廃校水族館(高知県室戸市)館長、黒島研究所(沖縄県八重山郡竹富町)所長



斉藤 知己

高知大学イノベーションセンター教授、海洋生物学と保全を軸に研究・教育へ実践的に取り組む



渡邊 国広

国土交通省高知河川国道事務所長、高知海岸の海岸侵食対策、地震・津波対策に従事



メケ・メイテ

サンペドロ大学学長、ユネスコ「平和の文化」チェアホルダー、専門はアフリカ文学・文化、フランス文学研究



ジェルヴェ・ジャジ

コートジボワール国立海洋学研究所(アビジャン)研究員 専門はウミガメ研究など



イシアカ・バカヨコ

ウフェ=ボワニィ大学博士課程、サンペドロ大学研究者職員、ウミガメの生態学研究



水谷 裕佳

上智大学グローバル教育センター教授、専門は北米地域研究、先住民研究、文化人類学



永井 敦子

上智大学文学部フランス文学科教授、専門は20世紀フランス文学、比較文学、シュルレアリスム

8.27 木曜日

10:30~17:30(開場 10:00)

上智大学四谷キャンパス
2号館 17階 1702 国際会議室

- 【使用言語】日本語、第4部は日本語・フランス語逐次通訳
- 【対象】一般、研究者、学生、小学生(保護者同伴でお願いします)
- 【参加方法】下記QRコードよりお申し込みください。
- 【お問い合わせ】上智大学地球環境研究所 i-gloenv2-co@sophia.ac.jp



先着100名様 小・中学生からはウミガメ研究者への事前質問を受付ます。申込フォーム内の説明をお読みの上質問欄に必要事項をご記入ください。*時間の都合上すべての質問にお答えできない可能性があります。

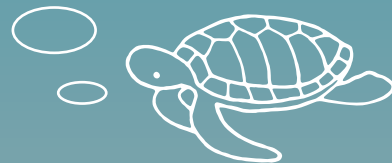
プログラム * やむを得ぬ事情により変更が生じる場合があります。

開会の辞 10:30~10:40

第1部：ウミガメと出会う 10:40 ~11:55

1. 「民話のなかのカメーアフリカと日本ー」
永井敦子 / 上智大学文学部教授
2. 「日本の食文化や民俗学の中のカメと地元水族館の役割」
若月元樹 / むろと廃校水族館館長

小学生、中学生の皆様
さんからのご質問をお待ち
しています！



未来のウミガメ博士たちの時間 12:00~12:30



- ウミガメクイズ
- 専門家がウミガメにまつわる小学生・中学生の質問に答えます
- 日本・コートジボワールの子どもによるウミガメの絵紹介

第2部：ウミガメを守る 13:30~14:45

1. 「高知海岸におけるアカウミガメの産卵状況と産卵地保全：2009年以降の記録から」
齊藤知己 / 高知大学イノベーションセンター教授
2. 「日本の海岸管理とウミガメの産卵地での対策例」
渡邊国広 / 国土交通省高知河川国道事務所長

第3部：ウミガメと生きる 15:00~15:45

- 「ウミガメを通じて考える沖縄・慶良間諸島国立公園の今」
水谷裕佳 / 上智大学グローバル教育センター教授



第4部：ウミガメがつなぐ 16:00~17:30 [コートジボワールと中継]

1. 「西アフリカの想像界のなかの亀（民話、なぞなぞ、諺）」
メケ・メイテ / サンペドロ大学（コートジボワール）学長
2. 「コートジボワールのウミガメと、いくつかの沿岸町村（アラディアン=ジャクヴィル、
アヴィカム=グラン・ラウ、クルメン=グラン・ベレビ）におけるウミガメの伝統的重要性」
エブラム・リュック・ジェルヴェ・ジャジ / コートジボワール国立海洋学研究所研究員
3. 「ウミガメ産卵地域の生態学的分析と孵化に関するデータ」
イシアカ・バカヨコ / ウフエ=ボワニィ大学博士課程 / サンペドロ大学職員
4. コートジボワールと日本の共通課題への取組み 全体討論とまとめ



←キャンパスへのアクセス
キャンパス MAP はこちら

